

令和4年8月11日
「全国スポーツ流鏝馬第7回八戸大会」

ボランティア学生団体 活動報告・お礼状 まとめ



目次

- P1 八戸高専弓道部
- P2～3 八戸あおば高等学院
- P4～6 Future Generations
- P7 北里大学にんじんサークル
- P8～9 札幌市立大学デザイン研究科

全国スポーツ流鏝馬第7回八戸大会 協賛者の皆様

この度はスポーツ流鏝馬八戸大会にご支援頂き、誠にありがとうございます。



八戸高専では弓矢体験教室を開催いたしました！
子供・大人関わらず様々な方々に楽しんでいただくことができ、嬉しく思います。
来年以降も多くの人に弓道の良さを知ってもらいたいと考えております。

機会があれば是非、櫛引八幡宮へ
観光にいらしてください！



令和4年 8月22日

八戸工業高等専門学校 弓道部

全国スポーツ流鏝馬第7回八戸大会 御礼

令和4年8月11日（木・祝）に開催されました標記大会にて、本学院のブースを出展し生徒とともに活動することができました。感謝申し上げます。

本学院は、平成25年に星槎国際高等学校と提携し設立した「青森県教育委員会指定技能教育施設」です。通信制高校の機能的な部分と、毎日通える環境を備え、「人を認める」「人を排除しない」「仲間を作る」の3つを約束事とし、現在17名が在籍しております。

さまざまな原因で不登校を経験したり、既存の学校になじめなかったり、いまの環境を変えたい（通っている高校を転校したい）生徒などを主な対象としております。

ゆるやかな学習カリキュラムの中で、さまざまな体験活動を通して自己効力感や成功体験の積み重ねを重視しており、十和田乗馬倶楽部様や八戸弓馬会様とのご縁から、乗馬体験や流鏝馬体験なども行っており、今回の出展に至りました。



あおば学院ブースでは、学院の紹介や飲料などの販売を行いました。ほぼ生徒たちによるもので、一般の方々とも触れ合いながら学院で勉強する「商業科目」との関連も見い出し、有意義な体験をすることができました。

今後とも本活動の継続および学院生徒たちの社会的自立ができるようご支援ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

<生徒感想（一部）>

私は今回2度目の参加でしたが、チャレンジマッチで記録係という貴重な体験をすることができました。実際に大会に出場する選手以外にも、いろんな人たちの支えがあり大会が成り立っていることを実感しました。ありがとうございました。また、次の機会があれば違う役割を担当してみたいです。

3年 下川原春陽

当日はボランティア宣誓に参加しました。緊張して直前までセリフが覚えられなかったが、何とか終わることができた。宣誓が終わると、周りの人に声がよく通っていたと褒められた。公の場でこのような経験はなかなかできないので、貴重な体験になった。大人たちだけではなく、大学生や高校生、中学生のボランティアもかかせない力であると思った。

自校のブースの担当をしている隙間に大会を見に行ったが、スポーツ流鏑馬は思っているよりも難しいものなのだと感じた。流鏑馬の選手たちには本当にすごいと思う。

3年 仲道颯汰

あおば高等学院ブースでは、受付やレジ、宣伝など自分たちで係を分担して行いました。

最初の方は雨の影響もありお客さんが少なかったのもっと声を出して売り込めばよかったと感じましたが、よい経験になりました。

実際にスポーツ流鏑馬を観戦したが、様々な世代の方が競技していた。日本の伝統を受け継いでいてとてもいいと思った。3年生のため来年は関わるのが難しいが、地元の誇りとして大会は継続してほしいと思いました。

3年 坂本琴音

八戸あおば高等学院のブースでは、唐揚げと飲み物を売りました。昨年のももあり雨だからあまり売れないかと思ってましたが、予想以上に売れてよかったです。流鏑馬をしている選手たちを見ていて、思っているより難しいと感じ、とてもかっこよく非常に見ごたえがありました。弓を引くだけでも難しいのに、馬に乗りながら、その上正確に当てないといけないなんて、大変だと思いました。実際に見ることが出来る機会は少ないので、貴重な体験となりました。ありがとうございました。

3年 吹原武琉

<本件担当> 八戸あおば高等学院
事務局長 白山 拓 弥
TEL 0178-22-3470
FAX 0178-22-3475
Mail info@hachinohe-aoba.com

Future Generations 活動報告



八戸大会を終えて

私たちは八戸大会で特設ブースを出展しました。そこでは流鏝馬クイズラリーの実施や顔出しパネル、塗り絵コーナーを設けたり、缶バッジ、ファンブックを販売したりしました。沢山の方に訪れていただき、主に子どもたちから体験型コーナーを喜んでもらう事ができました。多くの方々に流鏝馬の魅力を発信出来て良かったです。また、南部馬に関する展示パネルも新しく製作し、南部地区の馬にまつわる歴史も発信する事ができました。



チャレンジマッチ感想

私たちFuture Generations はチャレンジマッチの司会を担当させていただきました。「学生の学生による学生のための流鏝馬大会」をテーマに約30分試行錯誤し、工夫を重ね頑張りました。最初は成功させる事ができるのか不安でいっぱいでしたが、仲間と協力し合ったり、周りの方々から支えてもらったりしながら、学生同士連携して大成功を掴み取ることができました。

これからも頑張りま
す!!!



協賛いただいた方々へ

私たちは、Future Generationsとして高校生の立場から流鏝馬に携わることができ、沢山の学びを得る事ができました。その学びは学校での座学では得られないようなものばかりで、青森県の魅力を再発見できたり、仲間と協力して努力することの大切さが分かったり、地域の方々との触れ合いや世代を超えたコミュニケーションを取ることができたりなど様々です。この経験や学びを踏まえて、これからの人生をより豊かにし、より社会に貢献できるようになりたいと思えるようになりました。このような貴重な経験は協賛して下さった方々のお力が無ければ実現できなかったと思います。私たちにご協力して下さり心から感謝いたします。本当にありがとうございました!!

全国スポーツ流鏝馬 第7回八戸大会協賛者の皆様

令和4年8月11日(木)に開催されました全国スポーツ流鏝馬八戸大会において、私達にんじんサークルは裏方として、選手として活動することができました。誠にありがとうございます。

どの世代の方々にも、更には海外の方にも楽しんでいただけた大会となりました。誰でも楽しむことができる。これこそ流鏝馬の魅力の一つであるとともに、これほどまでに成功を収めることができたのは、偏に協賛者の皆様のご支援があつてこそだと思います。日頃から馬と共に活動している私達としては非常に嬉しく思います。

今後も、にんじんサークルは多くの人に流鏝馬の素晴らしさ、乗馬の楽しさを知ってもらうために様々な場で活躍していきたいと思っております。



令和4年 8月28日

にんじんサークル一同 🐎 🥕

納涼！ やわた馬うちわワークショップ

プロジェクト活動報告書

全国スポーツ流鏝馬第7回八戸大会にご支援くださりありがとうございました。ご支援のおかげで楽しく活動することができました！今後もよろしくお願いいたします！

プロジェクトスケジュール

デザイン研究科として表現活動ができるようなワークショップをつくらうと決めました。

6/25

イベント素案(仮)

7/3

オンラインで打合せ・プロジェクト本格スタート

7/5

体験の流れをイメージする
イベント素案

7/14

道具づくり・道具あつめ

7/26

試作・やってみる

8/1

おおよその流れを決めてみる

8/11

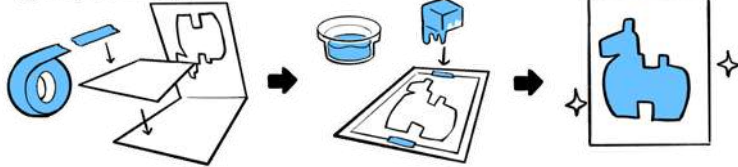
イベント当日



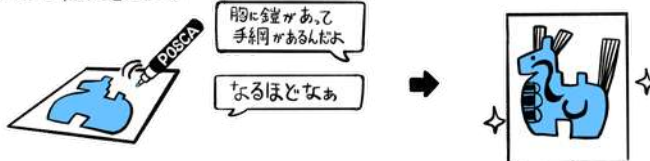
プロトタイプ制作

札幌市立大学にてリモートで宮司さんたちと活動内容についてリモートで会議しながらワークショップを組み立てていきました。

① 八幡馬の土台を切る

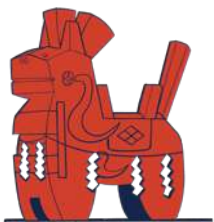
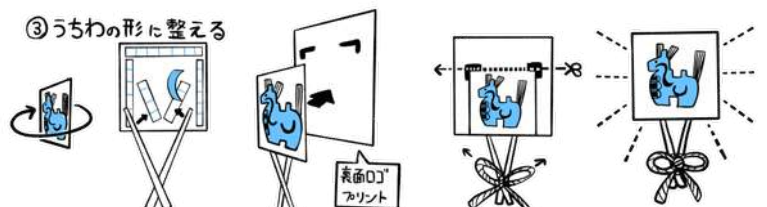


② ペンで模様を描きこむ



↑ プロトタイプのうちわ

③ うちわの形に整える



イベント当日



↑賑わっている様子



↑→キッチンペーパーなど
を使っているんな表現で
つくる様子



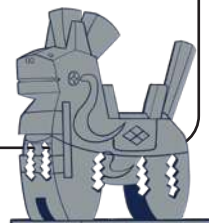
総勢33名の方に参加して
いただきました！

※プライバシーのため、参加者の写真は全て顔を隠しています。

今回の活動の感想

大雨で準備や人足が大変な状況でしたが、地域の人びとが神社と馬を愛でていることを感じられたとともに、そうした地域の人びとが帰省客などの地域外の人を呼び込みやすい雰囲気をつくっているのではないかと、とても良い場に参加できたことを嬉しく思いました。ワークショップでは、馬に対する振興心を持たせられるきっかけになっていたと思います。これからも、ものづくりを通して人びとと関わり合える場づくりをしていきたいと感じました。(三河)

ワークショップを開催・実施して地域の人々とお話しした際、地域の方々の地元愛を受け取ると同時に、次世代を担う子どもたちの知識を涵養する場になっていたと感じました。八幡馬の細部を確認するために拝殿前の像に走っていくワークショップ参加者の背中を眺め、世代を超えた交流が見えました。生憎の天気でしたが、無事開催、参加できたことを嬉しく思える貴重な体験でした。(佐藤)



例年行われている流鏝馬大会に初参加し、参加できたこと心からうれしく思います。外部からの参加にも関わらず、地元の方々の優しさとワークショップでの元気で楽しそうにする子供たちとそのご家族の姿を見てとても元気をもらいながら活動することができました。流鏝馬大会等で文化を大切にしていこうという思いの中、そのお手伝いをわずかながらもできたのではないかと思います。とても充実した一日でした。来年以降も是非交流を続けさせてください！(樋口)